

海賊対処行動水上部隊が無事任務を終え帰港

～ 第 48 次派遣海賊対処行動水上部隊帰国式典の様態 ～

第 48 次派遣海賊対処行動水上部隊がソマリア沖・アデン湾に向けて、2024 年 6 月に日本を発って以来、約 6 か月ぶりとなる 12 月 13 日に呉（広島県）に帰港した。

同隊は、古賀直樹 艦長が指揮を執る護衛艦「さみだれ」であり、乾野直規隊長ら 8 名の海上保安官を含む、約 200 名の乗員が事故無く任務を遂行し、無事帰国した。

派遣期間中は、ソマリア沖・アデン湾周辺海域においてゾーンディフェンスで商船の安全を確認したほか、中東地域における関係船舶の安全確保に必要な情報収集活動も行ってきた。

式典では、護衛艦隊司令官 伍賀祥裕海将が、「無事帰国したことを大変うれしく思う。194 日間もの派遣期間、海上保安官とも機密に連携し、海賊対処行動情報収集活動を行うことで我が国を始めとする商船の安全航行に大きく貢献した。派遣期間中の諸君の努力と献身に敬意を表する。」と大町克士自衛艦隊司令官訓辞を代読した。

また、彼末浩明海上保安監は、隊員に対して派遣についての感謝を述べ、今回の任務遂行に最大限の敬意を表する旨の挨拶を行った。

当協会を代表して、大谷祐介理事（常任委員）・海上安全委員長（飯野海運(株)代表取締役社長）が「商船の警戒活動、ありがとうございました！」と、中東周辺海域の航行上の脅威が続くなかでの任務に謝意を伝えた。

なお、このほかに当協会からは篠原康弘理事長、飯野海運(株) 井上徳親常務執行役員、NS ユナイテッド海運(株) 高見隆昌執行役員、川崎汽船(株) 乙田創海事戦略グループ長、(株)商船三井 富山茂部長代理、日本郵船(株) 進藤航海務グループ長、三菱鉱石輸送(株) 足立憲一取締役、国際船員労務協会からは井上会長・高橋事務局次長、全日本海員組合からは池谷国際局長らが参加した。

（海務部 事務局）

帰国行事



訓辞を代読する伍賀海将



表彰を受ける古賀艦長（右）



左より古賀艦長、大谷理事、乾野隊長



代表して出席した大谷理事（手前中央）



無事に帰国した「さみだれ」



今回出席した訪問団